

市老協だより

夏 号

就任の御挨拶

平素は、京都市の高齢者福祉施策に格別の御理解、御支援をいただきありがとうございます。

今年度、新たに健康長寿のまち・京都推進担当局長に就任いたしました安部康則です。これまで高齢福祉部門に在籍しておりました際におきましても、貴協議会の皆様から様々な場面で御理解・御協力をいただいたことに、この場をお借りして改めまして御礼申し上げます。本市の高齢者福祉を取り巻く状況は以前在籍していた頃とは大きく変化しており、担当局長という新たなポジションにおいて、現在の課題にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

貴協議会におかれましては、これまでから時代に対応した様々な取組を実施されており、とりわけ昨年度においては、多くの市民に御来場いただき、介護の大切さや素晴らしさを知っていただく機会となった「かいごみらいフェス」の開催等、その企画・実行力に改めて敬意を表します。

また、今年度においては、4回目となった合同入職式をロームシアター京都において盛大に開催され、私も市長とともに出席させていただきましたが、新たに高齢者福祉の世界でがんばっていることとする201人もの入職者をお迎えし、大変心強く感じました。

さて、日本は超高齢化社会、さらには人口減少社会を迎えており、本市においても既に人口の4人に1人以上の方が65歳以

上となりました。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、65歳以上の方が30%になる見込みであり、全体の人口減少の中でも、高齢者の人口は増加していく見込みです。

厳しい財政状況の下、少子化に伴う生産年齢人口の減少による様々な課題に対応していく必要があります。とりわけ、介護の担い手不足については大きな課題となっており、ICTや介護ロボットの積極的な活用や高齢者の働ける期間の延長等、知恵と工夫でこれまでの「当たり前」を変えていくことが必要となってきました。

令和という新たな時代を迎え、これまで人類が経験したことのない超高齢化社会の到来の中にあっても、積極果敢に市民の皆様がいきいきと暮らせる京都を目指してまいりたいと考えております。

福祉現場を担っていただいております貴協議会の皆様とはこれまでから、本市の高齢者福祉における様々な課題に対して、積極的な意見交換を通じて、共同して取組を進めてまいりました。

「第7期京都市民長寿すこやかプラン」も今年度で折返しを迎え、その達成に向けて着実に取組を進めていく必要があります。皆様の御理解、御支援を賜りながら、私自身、先頭に立ってプランに掲げる様々な取組を積極的に推進してまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

INDEX

- 01 あいさつ
- 02~03 合同入職式
- 04 新施設紹介①すないの家 桂
- 05 新施設紹介②鷹匠の家ほっこり
- 06 新施設紹介③おんまえどおり
- 07 ハートメッセンジャー紹介
- 08 市老協組織について



健康長寿のまち・京都推進担当局長

安 部 康 則

合同入職式2019



合同入職式

満開の桜の中、平成を締めくくるとともに、令和という新たな時代で大きく花を咲かせる希望の中、平成31年4月6日に第4回『合同入職式』がロームシアター京都サウスホールにおいて開催されました。この式は、市老協加盟施設の新規採用職員のモチベーションを高め、各施設間の連携を深めることにより、人材の定着を図ることを目的としております。

今年度は、202名の新入職者、ご来賓、学校・施設関係者、ご家族等合わせて300名の参加がありました。参加された入職者の方々は、社会人としての自覚と希望を胸に真剣な面持ちでした。



市老協会長 山岸 孝啓

入職式は、山岸会長の挨拶から始まり、入職者へ向けて歓迎とお礼の言葉、介護や福祉を支える人材として集い、援助の尊さを認識していくこと、そして、数多くの仲間がいることなど、市老協という組織の中で安心して働いて欲しいという思いを述べました。



京都市長 門川 大作

門川大作京都市長からのご祝辞では、介護を「これほど尊い仕事は無い。尊い仕事に相応しい処遇の改善が大事」と市長ご自身も福祉の現場と共に頑張ってきた、とお言葉に入職者と共に関係者一同も心強さを感じました。



花園大学教授 福富 昌城

学校関係者を代表して花園大学教授の福富昌城先生からご祝辞を頂戴しました。これから福祉の専門職を目指す入職者に向けて、ご利用者の声に気が付かされ、その声が職員を育てていくというエピソードなど、ご自身が介護職員として働いていたころの話を披露していただきました。



青野 浩美氏（声楽家）

続いて、入職者代表のお二人による「挨拶と決意表明」がありました。社会福祉法人美郷会の小松勇介さんは、「高齢者福祉の担い手として社会で活躍できることとなった喜びと責任を感じています。大きな誇りを持って高齢者福祉発展のために全力を尽くす覚悟です」と。社会福祉法人勸修福祉会の道嶋玲奈さんは、「一人前の社会人になれるよう最大限の努力をしていくつもりです。この合同入職式での大きな喜びと新鮮な感激を決して風化させないよう、実りを得るために日々精進していきます。」と、高らかに決意を述べられました。

社会福祉法人美郷会の小松勇介さん（右）
社会福祉法人勸修福祉会の道嶋玲奈さん（左）

そして、青野浩美さんの記念講演へと移ります。青野さんは、声楽家として活躍している最中、突然発病します。気管切開を余儀なくされ、医療機器で声は出せても歌うことが出来た人はいないと絶望とも思える宣告をされます。それでもそれを聞かされた直後に、「これは、前例を作れるチャンス。チャレンジできることに嬉しさを感じた」と捉えた青野さんの力強さは、来場者へ大きな驚きを与えます。そして、強い意志を持ち、家族・友人と共に様々な困難を乗り越えた話を聞かせていただきました。講演会は、トークと歌唱を織り交ぜた形で進みました。苦難に懸命に取り組んだ生き様は、美しい歌声に乗って、来場者の心に届きます。入職者は、其々の立場に置き換えながら、社会人としての自覚と真剣に仕事に向き合う決意を固めているように感じました。

式も終盤に差し掛かり、恒例の市老協コーラス隊による激励の言葉と合唱の披露。コーラス隊は、市老協加盟施設の有志が集まり、業務多忙の中、介護の仕事の素晴らしさを伝える広報担当として活躍しています。合唱前、「これから仕事をしていく中で嬉しいことや楽しいことが待っています。それとは逆に苦しいこと悲しいことがあるかもしれませんが、市老協の仲間として一緒に頑張っていきましょう」と、市老協の先輩からの言葉に入職者も心強さを感じていました。1曲目は、「365日の紙飛行機」です。大きく高く飛ぶよりもゆっくりと風の力を借りて飛ぶことの素晴らしさ、結果よりもプロセスが大事という歌詞は、先輩

方からの優しいメッセージとして来場者に響いていました。最後に、ハートメッセージャーをイメージしてシンガーソングライター堀内圭三氏に作曲していただいた「ハートメッセージャー」で締めくくっていただきました。



市老協副会長 河合 悟

最後は、市老協の河合悟副会長の閉会の挨拶です。会場中を巻き込み、出合いを大切にする、笑顔の素晴らしさについて触れ、「どうか、利用者に笑顔を提供できる専門職になって欲しい」という言葉で締めくくりました。

其々、施設は違いますが、市老協という大きく暖かい組織の中で、切磋琢磨しながら励ましあい、京都市の高齢者福祉を盛り上げていきたいと切に願っております。入職者の皆様、共に頑張っていきましょう。

（東九条のぞみの園 小笠原 邦人）



2019.04
NEW OPEN

FILE 01

特別養護老人ホーム すないの家 桂



私共の法人は、愛知県名古屋市内に本部を構え、特別養護老人ホーム、グループホーム、保育所などを運営する法人です。この度初めて京都の地に特別養護老人ホームすないの家桂を開設いたしました。「すない」には「寿永生」幸せに長生きしてほしいという思いとすえながいくてくさいというおもいが込められています。生まれ育った場所と同じ空気を感じて毎日生き生きと過ごせる「家」のような特別養護老人ホームを心を込めて創り出していきます。「介護は技術だけじゃない。心」です。」をコンセプトに働く人の思いも大切に職員全員で利用者さまの満足を得られるような謙虚で献身的な介護を提供できるよう心掛

“すない”とは末永く幸せに生きてほしいとの願いです。



特別養護老人ホーム すないの家 桂

施設概要

法人名：社会福祉法人 かなえ福祉会

施設長：大西義彦

所在地：〒615-8234

京都市西京区御陵塚ノ越町17番地の1

電話：075-874-5137

FAX：075-874-5143

事業内容

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）広域型
- ・定員80名（8ユニット。1ユニット10名）

けてまいります。また次施設として京都市右京区に特別養護老人ホームの建設も決定しており、京都市に根差した施設づくりに力を入れていきたいと考えております。かなえグループの公益社団法人国際人材研修機構では外国人の技能実習生受入れのお手伝いをさせていただきます。当法人では現地に介護技術を教える施設を構えており、日本の介護職員が直接技術指導をしており、即戦力の人材をお連れすることができま。昨今の介護人材不足に少しでもお役に立てればと考えております。京都では初めての施設となりますので何卒皆様のご指導ご支援を賜ります様お願いいたします。

2019.02
NEW OPEN

FILE 02

鷹匠の家ほっこり



「ともに」いさる

2019年2月1日、地域密着型複合福祉施設「鷹匠の家ほっこり」を開設させていただきました。伏見区総合庁舎のむかいで、近隣には大手筋商店街もあり、大変恵まれた場所にあります。

私たちは、1、出会いを大切に
する、2、役割を持つていきいき
と生活する、という点を大事にし
て支援をしていきます。

一つ目は出会いを演出できる場
所として。これは、人は地域の中
で、多くの人とつながりあつて生
活しており、「誰かが私のことを
思ってくれている」という安心感

が毎日の生活に彩りを添えてくれ
ると考えているからです。

二つ目は、自分は誰かの役に
立っているという自己が存在して
いるという実感。全ての人が尊厳
を持って生活していただける支
援を行っていきます。

多くの方が集う場として、地域
住民の皆様、関係諸団体の皆様と
ともに最後まで安心して暮らし続
けられる支援、まちづくりを担っ
ていきますので、これからもご指
導、ご鞭撻のほどよろしくお願い
いたします。



鷹匠の家ほっこり

施設概要

法人名：社会福祉法人 京都老人福祉協会

施設長：橋川光一郎

所在地：〒612-8062

京都市伏見区鷹匠町13番地1

電話：075-622-9545

FAX：075-622-9546

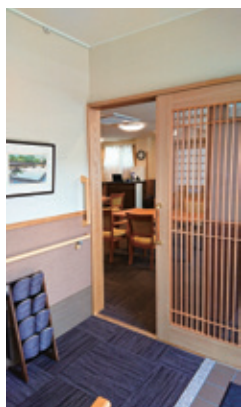
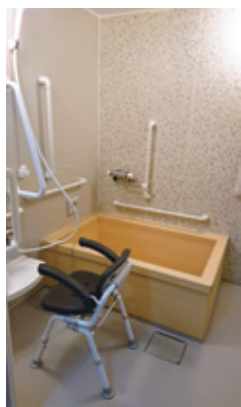
事業内容

- ・地域密着型特別養護老人ホーム 22名（2ユニット）
- ・小規模多機能型居宅介護 登録定員29名 通い18名 宿泊6名
- ・総合相談事業所、未来スペース楽水楽山

2019.03
NEW OPEN

FILE 03

地域密着型ケアセンター おんまえどおり



「おんまえどおり」は、地域密着型総合ケアセンターきたおおじのサテライト施設として京都市上京区に2019年3月31日に開設いたしました。本体施設のきたおおじ設立当初より掲げてきた「住み慣れた地域で暮らし続けることを支える」「すべての世代が集まり出会う広場に」「利用者の尊厳保持の実現をめざす」という理念の実現に向けて、新しい施設の運営に努めて参りたいと思います。

おんまえどおりの所在する仁和学区は、高齢化率が34%に近づく

一人ひとりの「こだわり」「思い」を大切に 暮らしをつなぐ

うとする上京区の中でも高齢化が進む地域であり、様々なニーズが潜在化していると思われます。慣れ親しんだ町並みの中で、高齢者が安心して暮らしを継続できるような支援が求められます。小規模事業所の強みを生かし、地域の皆様と顔の見える関係を築きながら、職員も地域に溶け込み、開かれた施設運営と、居心地の良い環境作りに心がけたいと思います。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



地域密着型ケアセンター おんまえどおり

施設概要

法人名：社会福祉法人 リガーレ暮らしの架け橋

施設長：杉原優子

所在地：〒602-8355

京都市上京区御前通下立売上る天満屋町312-1

電話：075-406-0880

FAX：075-406-0888

事業内容

- ・サテライト型地域密着型特別養護老人ホーム 定員22名（2ユニット）
- ・小規模多機能型居宅介護 登録定員29名（宿泊6名、通い18名）
- ・住宅型有料老人ホーム 11室
- ・地域交流サロン

ハートメッセンジャー

アムールうずまさ

メンバー紹介

西陣憩いの郷



介護の仕事を選んだ理由は？

人の役に立つ喜びを得る事が出来る仕事
がしたいと思ったからです。



好きな言葉、座右の銘は？

物事は一瞬じゃ変わらない、積み重ねと
努力あるのみ



趣味・特技を教えてください

趣味：スポーツ観戦 特技：壬生狂言



ハートメッセンジャーとして一言

一人でも多くの方に介護の楽しさや奥深
さを知って頂きたいと思います。



介護の仕事を選んだ理由は？

身近な人が介護の仕事をしているの
を見て、やりがいのある素晴らしい仕事
だなと思ったからです。



好きな言葉、座右の銘は？

前後を切断せよ みだりに過去に執着す
るなかれ いたずらに将来に望を属する
なかれ 満身の力を込めて現在に働け



趣味・特技を教えてください

映画鑑賞 歌舞伎鑑賞 料理や物を作る



ハートメッセンジャーとして一言

介護の魅力をたくさんの人に知ってい
ただけるように、ハートメッセンジャー
として頑張っていきたいと思います。



ブロックリーダー紹介

去る5月11日、第6期ハートメッセンジャーの委嘱式及び研修会を行いました。

今後のハートメッセンジャー活動の活性化を見据え、今回京都市内をA・B・C・Dの4つのエリアに分け、ブロック編成を行いました。

それぞれの地域で、今後ますますハートメッセンジャーが活躍されることを期待しています。

今回は、その中心となってくださる各ブロックリーダーをご紹介します。



Aブロックリーダー
(にしがも舟山庵 上川さん)



Bブロックリーダー
(あじさい苑 池田さん)



Cブロックリーダー
(山科積慶園 仲村さん)



Dブロックリーダー
(花友いちほら 山下さん)



中村倫典理事 新川昌代理事 伊藤康子理事 西村久史理事 石田昌男理事 井上章理事 伊藤禎哉理事 水内直理事 児玉直久理事 堀池克彦理事 (事務局長)
吉川昌弘監事 橋本武也副会長 川田雅之副会長 山岸孝啓会長 河合悟副会長 溝口武美副会長 山内幸雄監事 嶋本富士雄監事

市老協 2019 新たな体制で スタート しました！

市老協は、平成31年4月1日に第1回理事会を開催し、新たな役員体制をスタートさせました。前期に引き続き、山岸会長（嵐山寮うたの）、河合副会長（レーベン横大路）、溝口副会長（豊和園）、川田副会長（春日丘センター）、橋本副会長（同和園）の5名の正副会長が継続して就任することとなりました。

会長及び副会長を含めた理事は15名、そのうち石田理事（梅津富士園）、伊藤理事（そのの木）、新川理事（ももやま）が新たに理事に就任し、吉川監事（ヴィラ山科）が新たに監事に就任いたしました。継続の監事2名を加えた総勢18名の役員を中心に、京都市民の皆さんに質の高いサービスを提供することなどを目的として、今後とも精力的に協議会活動に取り組んで参ります（役員写真参照）。

また組織については、活動実績や会員からの意見を踏まえて、二年前の役員改選時から段階的に、より実情に即した委員会・部会の運営を目指した部会の新設や名称の変更、細分化及び統合による変更を行って参りました（下部組織概念図参照）。

『経営・人材確保委員会』（旧）は現在、『人材確保・定着委員会』と『経営委員会』に分かれ、『経営委員会』において各施設事務担当者からの要望を受けて、『事務部会』を3年ぶりに復活いたしました。

『人材育成・研修委員会』の『新任施設長研修部会』（旧）は『施設長研修部会』と名称を改め、新任施設長に限らず施設長、管理者を対象とする研修を担当することとなりました。

『事業委員会』においては元々プロジェクトとして取り組んでおりました各研修・事業を部会とし『すまい・生活支援事業部』及び『支え合い型研修事業部』をそれぞれ新設致しました。

プロジェクトについては現在『災害支援（BCP）』、『社会貢献・地域公益事業』、『よくする介護』の3つに取り組んでおります。『災害支援（BCP）』においては、近年増々激しくなる自然災害による被害に対して、協議会として行うべき連携や対応方策の検討などを目的としております。『社会貢献・地域公益活動事業』においては、社会福祉法人として各施設において取り組んでいる社会貢献・地域公益活動の状況を調査研究し、情報発信をしております。『よくする介護』においては、介護の専門性を明確にしながら「よくする介護」の実践を学び、会員施設におけるケアの質の向上を目的としております。

会員施設のニーズや、当協議会に対する期待・ご意見を受け止めながら、京都市の高齢者福祉の充実を目指して、効果的・発展的な協議会活動を展開して参りたいと考えています。

組織概念図

京都市民《人口1,463,996名》（2019年4月1日現在）・要介護認定者 86,667名（2017年12月1日現在）

市老協会員施設122（施設）（2019年5月15日現在）

